

舞い上がったジャコウアゲハ 人々の願いに都会の風を受けて!

2023年5月28日 調査 小川 浩

昨年に引き続き、武蔵浦和に来ました。昨年はジャコウアゲハ、今年は11羽に出会うことができました。大切にしていきたいですね。



カイワブリ

鳥 カイワブリ科

水上で生活し、水中の生き物をつかまえて食べる。潜水の名手

体全体はコブ茶色



足は針足(キキ足)になる

目は黄色
くちばしは黄色い
首は赤茶色
頬は黒い
体全体は黒っぽい

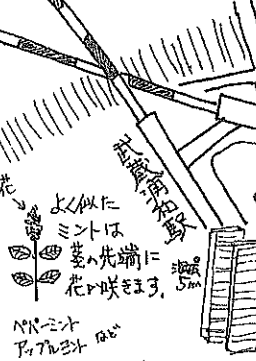
バン 鶺鴒

鳥 アシカ科

水辺や湿地で生活する。水かきや採餌の得意ではない。大きくしゃがんだ姿が特徴

武蔵浦和の植物

- | 湿地 | 道端 |
|---------|---------|
| セリ | ワカスズグサ |
| ドクゼリ | オミミギ |
| カルコグサ | ハラアサギ |
| ヨシ | ハッカ |
| タガラシ | ハコグサ |
| キツネノコブシ | ドクダミ |
| クサヨシ | ヘラオノハコ |
| ハッカ | ゴビノコ |
| キツネアサギ | ニギキギ |
| ジャコウアゲハ | オミミギ |
| ミゾソバ | マダコバヤクナ |
| チガヤ | アガバコアゲハ |



湿った所に生え、全体が青緑色のある香りがある。夏に赤紫色の小花を咲かせ、花は葉の付け根に咲く。

白幡沼

今は無い古入間川が、上流から運んできた土砂を堆積させてできた自然堤防が、世白川の侵食谷の入口をふさいだことでできたと考えられる沼。伝説では、ダイタクボッチという巨人が戦った時に争った土地がくぼみ、水がたまって沼ができたといわれている。そのため白幡沼は、「ぶし沼」ともいう。

白幡本宿遺跡

戦国時代の城や建物の跡や発掘された。城主などは不明。東西両の三方に崖に囲われている。南側の辰王寺には、高さ2mを超える板石塔婆(1309年)がある。東側の起る野天神社の創建は約300年前。西側の寺には白幡古墳跡がある。



白幡の由来

約1100年前の平将門の乱にも鎮座した藤原秀郷が、この地に滞在して兵を集めた時に、旗印として白旗を立てたことにより、白幡沼といわれている。白幡沼神社には、秀郷が毎夜通ったといわれる八幡社がある。

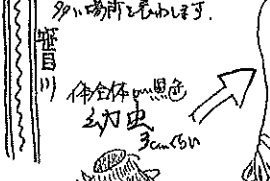
藤原秀郷

別名 依田藤原大経 鎌倉府将軍 下野・武蔵国司
武蔵にすべし下野の地に、藤原の白目鬼退治や道玄、三玄の太刀足
退治の伝説がある。



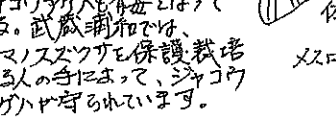
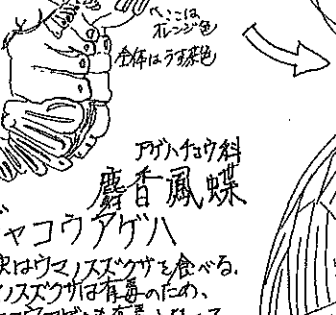
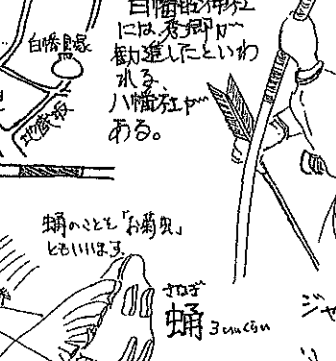
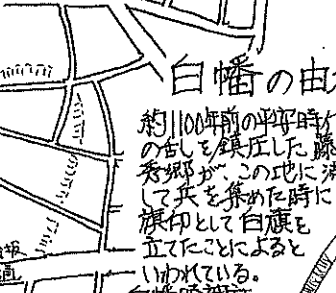
ジャコウアゲハ

幼虫はワカスズグサを食べる。ワカスズグサは有毒のため、ジャコウアゲハも有毒となっている。武蔵浦和では、ワカスズグサを保護栽培する人の手によって、ジャコウアゲハが増えています。



麝香鳳蝶

幼虫はワカスズグサを食べる。ワカスズグサは有毒のため、ジャコウアゲハも有毒となっている。武蔵浦和では、ワカスズグサを保護栽培する人の手によって、ジャコウアゲハが増えています。



調神社

約200年前に創建されたといわれている。伊勢神宮に祀られる調物(たづもの)を、もとに奉りていた。調物(たづもの)を、もとに奉りていた。調物(たづもの)を、もとに奉りていた。

お助け井戸

中山道の奥の陣屋跡にある。関東大震災や東京大空襲の際に、東京から中山道を避難して来た人々の喉を潤わせた。

